

去る4月29日、群馬県藤岡市の関越自動車道上り線藤岡JCT付近において、高速ツアーバスが時速90Km/h以上の速度で側壁に衝突し、乗客・乗員46名の全員が死傷（うち乗客7名が死亡）するという悲惨な事故が発生いたしました。

この事故に伴い、国土交通省から、5月9日、長距離夜行便の運転者の2人乗務化の検討など安全対策の推進の要請がありました。

日本バス協会としても、今回の事故を踏まえた安全対策は勿論、従来から要請してきた高速ツアーバスの廃止や貸切バス事業の参入規制強化など、制度面での適正化の推進と併せ、会員の夜間長距離運行における安全確保対策について検討を進めるため、高速路線バスと高速ツアーバスの運行実態及び2人乗務化の調査を行いますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

また、関係会員各社におかれましては、安全対策の再点検とともに、ホームページ上の活用などにより、お客様に対し、高速路線バスの長距離夜行便に係る安全取組み、乗務体制等についての情報提供などのご配慮をお願いいたします。